

授業科目	*母性看護学概論					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	杉浦 絹子						
授業概要	<p>母性看護とは何かについて、母性看護の主要な概念について、多角的な視点から学修する。なかでも中核となる概念であるリプロダクティブ・ヘルス/ライツを基盤として、思春期から更年期の女性のライフサイクル各期における健康問題とその予防、女性のQOL向上のための方策について理解を深める。本授業においては、視聴覚教材を活用し、適宜短時間のディスカッションの時間を設ける。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床での助産師としての実務経験を有する教員が教授する。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標

評価方法・評価割合

評価方法 / 評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	30%	授業への参加態度。ミニツツペーパー。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 ○ DP3 - DP4 - DP5 - ナンバリング NU21312J

學習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

予習

教科書の該当箇所を読んでおく。

復習

教科書および授業時に配布した資料を用いて学習内容を理解する。

4

授業計画

第1回	<p>テーマ：母性看護とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性とは ・母性看護の対象と目的、特徴 ・母性看護における主要な理論と概念 <p>母性論、女性中心のケア (women centered care)、家族中心のケア (family centered care) セクシュアリティ、ジェンダー</p>
第2回	<p>テーマ：母子保健の動向と母子保健施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健の動向 ・母子保健の課題 ・母子保健に関する法律 ・母子保健施策
第3回	<p>テーマ：女性特有の健康問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性暴力とは ・性暴力被害者への対応 ・性暴力対策
第4回	<p>テーマ：女性の生涯における健康問題と看護①思春期-成熟期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月経に関する諸問題 ・性感染症
第5回	<p>テーマ：女性の生涯における健康問題と看護②思春期-成熟期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予期せぬ妊娠と妊娠SOS ・人工妊娠中絶とその看護
第6回	<p>テーマ：女性の生涯における健康問題と看護③成熟期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊 ・生殖補助医療を受けるカップルへ看護
第7回	<p>テーマ：女性の生涯における健康問題と看護④更年期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更年期障害 ・性差医療
第8回	<p>テーマ：リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する倫理的課題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖補助医療と倫理的課題 ・出生前検査と倫理的課題 ・倫理的課題に直面した女性の意思決定支援
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護、渡邊浩子、板倉敦夫、松崎政代編、メディカルフレンド社
参考図書・教材/データベース・	<ul style="list-style-type: none"> ・最新版国民衛生の動向 厚生労働統計協会 ・こども家庭庁ホームページ https://www.cfa.go.jp/

雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none">内閣府 男女共同参画局ホームページ https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/sokushin.html厚生労働省研究班 女性の健康推進室 ヘルスケアラボ https://w-health.jp/病気がみえる9 婦人科・乳腺外科 メディック・メディア
課題に対するフィードバックの方法	ミニツツペーパーに書かれた質問等には、次回の授業の冒頭で回答し、クラスで共有します。
学生へのメッセージ・コメント	看護者として母性看護を提供するという視点のみならず、自分自身の生涯にわたる健康という視点から女性のこころとからだの健康を保つために必要な知識を学んでいただきたいと思います。日頃から女性の健康に関するマスメディアの報道や記事に興味・関心を持って情報に触れてください。

